

セルフモニタリング報告書(令和2年度分)

令和 3 年 4 月 12 日

施設名 沼ノ端交流センター
 指定管理者名 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
 所管課名 青少年課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	コロナ禍の影響で計画通り実施することができない事業もありましたが、概ね事業計画に従い適切に運営することが出来ました。多目的ホールやラウンジ内のレイアウトを変更し一人につきテーブルにするなど、感染対策を講じた管理運営を行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	4月～5月にかけての緊急事態宣言に伴う全館休業により、利用者は前年度に比べて減少いたしました。その分、利便性の向上としてマイナンバー窓口の通年利用や貸館利用の柔軟な対応など利便性を高める施策を行いました。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	新型コロナウイルスの影響で、休館が明けた後も感染対策を講じてはおりますがイベントの自粛などもあり、子どもから一般まで利用者は減少いたしました。「交流」自体にリスクが生じてしまった一年ではありますが、地域の皆様における知名度は上昇しており来年度以降に繋がる形となりました。	Ⓐ・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	令和2年度の自主事業計画は新型コロナウイルス対策のため、実施できたものと実施することができなかったもので半々に分かれました。講師の都合によりベビーヨガは開催できませんでしたが、その代わりとしてベビーマッサージ、乳幼児の保護者向け睡眠セミナーなどを開催いたしました。利用者同士が密にならず、マスクを外さずに行える事業は限られておりましたが、感染対策と両立した利用者のためになる事業を開催できました。	Ⓐ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に	今年度も北栄町内会館の一面として、沼ノ端交流センターは町内会長様をはじめ多くの役員の皆	Ⓐ・B・C・D・E

向けた取組が行われているか。	様と一緒に会場設営、運営を行っております。4月、5月の休館中は開催できませんでしたが、それ以降は定期的に町内の皆様の現在の問題点や今後の課題・運営方法を話し合い、より良い施設になるようにご協力を賜っております。	
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケートの結果から、多くの利用者の皆様から満足・やや満足とのご回答をいただきました。利用者のご意見・ご要望を真摯に受け止め日々の業務一つ一つを適宜見直し、よりよい施設となるよう職員一同一丸となり頑張っております。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	利用者のご意見・ご要望は各施設の受付カウンター前にご意見箱を設置し各担当者が日々確認し都度、館長に報告、その後四半期ごとに対応をまとめて館内に掲示しています。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からのご意見・ご要望・苦情は即座に対応しその後、青少年課の担当者に報告、事故等の重要案件は職員全員が周知できるようにしております。	Ⓐ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	新型コロナウイルス対策のため、アルコール消毒液やハンドソープなどの物品を大量購入することとなり、昨年度より経費は増加いたしました。対策関連費については苫小牧市からの補助金を活用させて頂きました。次年度に向け、必要な物品を精査し経費の軽減に取り組んでまいります。	Ⓐ・B・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	清掃・外観管理を外部に委託しており、現場担当者と定期的に打ち合わせをしております。清掃に関しては当初の清掃箇所と運用後の清掃箇所を変更し利用者が多く使用する箇所は頻りに清掃し利用頻度の低い箇所は清掃回数を減らすなどの提案を清掃業者と話し合い職員で出来る清掃は自分たちで行うようにしております。	Ⓐ・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	自主事業の開催が難しかったものが多く、講師による沼ノ端交流センターの独自の教室を開催できませんでしたが、貸館対応として調理室の日中開放などを行っております。HPや掲示などでスタジオやミーティングルームの利便性・知名度向上を行い、次年度以降の収入増加を目指しています。	Ⓐ・B・C・D・E

4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	児童センターの管理体制はセンター長を中心に、最終責任者とし館長を配置しております。年度内に職員の増減はありましたが適正な管理体制を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	職員を一同に集めて行う研修はリスクがあるため、当社で導入しているシステムを活用し、リモート研修を行いました。各自でタブレット、スマートフォンから研修動画を閲覧し、報告を提出することにより感染対策と両立した能力向上を行うことができました。この取り組みは次年度以降も定期的に行っていきます。	Ⓐ・B・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	新型コロナウイルス感染防止対策の為、4月から5月にかけて全館休館となったため、やむなく利用不可となったお客様には、利用日の変更、使用料の還付を行い適切に対応いたしました。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	当社は全職員に対し、入社時に個人情報の講習を行っております。また会社全体でプライバシーマークを取得しており利用者の個人情報保持の為、管理しております。また日頃利用する個人情報は児童センター事務所内の鍵のかかるロッカーで管理・保管しております。	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	利用者からの施設利用料については交流センター管理室内で受け取り後、事務員・館長の管理・入金後、札幌営業所の所長が最終確認しております。多くの職員が管理することにより、不適切な会計処理が起きない様にしております。	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び定期点検は外部委託業者が管理しております。また上級施設管理者を1名配置し安心安全に使える施設管理を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類・備品等については定期的に見直しを行い、不必要なものは処分し安全性に問題がある備品があれば随時入れ替えを行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	安全対策については、万が一事故が起きた時の対応方法・対処方法を職員研修で行っております。発生の危険性が高い児童センター内遊戯室においては小学生来館時は必ず2名以上の職員を配置し、見守りを行うことで事故防止に努めております。	Ⓐ・B・C・D・E

法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全社共通の就業規則を元に職員研修を行い、全職員がコンプライアンスを重視した、管理・運営を行っております。	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては全職員が苫小牧在住で、多くの職員が地元出身者です。資材の調達・再委託も地元の業者を中心に行っております。今年度は開催が難しかったですが、次年度以降様々なイベント等を通じ地域の皆様にご協力できるような体制を整えております。	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

新型コロナウイルス感染拡大が続き、緊急事態宣言による休館ならびに予定しておりましたイベントや教室の開催が行えず、利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

しかし、施設利用者ならびに職員に感染者が発生せず無事に管理・運営を行うことができたのは、利用者の皆様のご協力をはじめ、苫小牧市健康こども部青少年課並びに市民生活部の方々、多くの方にご指導を頂いているおかげと考えております。次年度以降は実施できなかったイベント等の開催を目指し、感染防止策を講じた上で安心安全を第一とした管理・運営を行って参ります。

利用人数に関しましては、年間でのべ約 52,000 名の方にご利用・ご来館頂きました。昨年度より利用者数は減少いたしました。休館や大型イベントの開催ができなかったなか、これだけ多くの皆様にご利用頂いたことに大変感謝しております。次年度こそ更に多くの方に当センターに足を運んで頂く為、より苫小牧地域に根付いた様々な取り組みを行って参りたいと考えております。

当社は全国各所にて児童館等の事業展開をしており令和 2 年度は苫小牧市内 5 か所の児童センターの指定管理を任されております。センター同士で連携し、苫小牧市民の皆様が楽しめるようなイベントや事業を展開していけるよう、また当センターがその中心となって情報を発信していけるよう日々努力して参ります。

最後に、例年にない状況下ではありましたがコロナ禍の先を見据えて当社、職員一丸となり知恵と工夫を絞り管理・運営を行ってまいります。健康こども部青少年課並びに市民生活部の皆様には今後とも何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。